

～教育目標～

【学びをつなげる学校】



自己の障害への理解を促し、一人一人の可能性を最大限に伸ばし、心身の調和的発達を図るとともに
豊かな言語力を育て、社会の一員として主体的に生きる人を育てる

～めざす子供像～ 「人とのかかわりを楽しみながら、自分らしくたくましく進んでいく子」

幼稚部：友達と楽しく活動し、たくさんお話をする子

小学部：自分から気付き、友達といっしょに取り組む子

中学部：自分で考え、協働する生徒

地域支援部：（通級生）学校生活や学習に自信をもって意欲的に参加できる子 （乳幼児教室）：身近な人や物とのかかわりを楽しむ子

～教育の4本柱～

「豊かな言語力」「確かな学力」「健やかな体」「思いやりの心」



安全・安心

健康で安全な生活と、安心をつなぐ学校

- ・ 生命の尊重と高い人権感覚による多様性と人格を認め合う集団づくり
- ・ 学校安全や心身の健康づくりの意識向上による自己管理能力の向上

つなぐ学び

共生社会を生きる力につながる学びを進める学校

- ・ ICTの有効活用による主体的学びの実現
- ・ 自分や他者との対話的学びと協働による深化した学びの実現
- ・ キャリア教育の視点で共生社会を生きる力につながる学びの実現

信頼・連携

信頼関係を築きながらつながる学校

- ・ 教育相談及び乳幼児教室の充実
- ・ 通級指導教室の指導の充実と啓発
- ・ 関係機関との情報共有及び相互支援の進展

・ 家庭（PTA活動、家族参観会、学校行事、保護者学習会、防災訓練、個別面談、卒業生との交流等）

・ 地域（学校運営協議会、大里地区社会福祉協議会、地区防災会議、中村町自治会、地域の学校、交流籍校、地域ボランティア等）

・ 関係機関（同窓会、聴覚障害者情報センター、県立総合病院等医療機関（ST）、補聴機器業者、市役所等福祉サービス）